



さわやかな5月の風に乗って

学校長 西尾武泰

新緑が輝く中、つつじやさつきの花が美しく映える季節となりました。校庭では様々な植物が順番を競うように芽吹いています。どんな花が咲くのかワクワクする中で、子どもたちはコロナ禍にも負けずに元気に過ごしています。

最初は学校生活に慣れることに一生懸命であった1年生でしたが、高学年のサポートもあり、徐々に小学校の生活をしっかりと送ることができるようになりました。登校班での登校してくる姿も、班長に続いて整列しながら歩いてきます。そして校門のところではきちんと挨拶も出来るようになってきました。給食にも慣れてきたようで、モリモリと食べ、休み時間は元気に校庭に出ていく姿も見られます。

2年生から6年生もそれぞれ新しい仲間や先生、環境の中で、元気いっぱい学習や諸活動に取り組んでいます。年度初めに立てた、一人ひとりの目標を常に意識しながら、発達段階に応じた精一杯の取組ができるよう、私たち教職員も支援していきたいと思います。特に6年生は最上級生としての意識をもって、たて割り活動や各委員会活動などに積極的に関わっています。この一か月の様子を見ていると、駒林小学校をより活発で、居心地の良い温かいところとするための原動力として行動し、とても頼もしく感じています。一年間、自主的に、そして積極的に駒林小学校のリーダーとしての活動を充実させ、自信と誇りを身につけて中学校へ羽ばたいてほしいと思います。

インターネットの普及が徹底された今、直接人と会わなくても必要な情報や品物が手に入ります。オンラインでのミーティングもコロナ禍により一気に普及してきました。そのような時代だからこそ、成長期の子どもたちに必要とされるのは、他との関わりと自己肯定感だと思います。学校でも縦割り班活動で学年を超えた交流を取り入れ、さまざまな仲間との活動をしています。いつもと違う仲間や環境への適応が苦手な子どもは少なくありません。いかにスムーズにそのハードルを越えるのか、その子の課題に寄り添いながら丁寧に支援しています。子どもたちが互いを思いやり、自分の強みを意識しながら協力し合う学校生活を送ることで、豊かな心を育成していきたいと思います。子どもたちも学校も、地域の方や保護者に支えられて成長しています。これからも、ご支援とご協力をお願いします。